



# 小学生バドミントン通信

NO.17 2017.07

発行：日本小学生バドミントン連盟 会長 黒川 茂

## 『 総 合 力 』

小平ジュニアバドミントンクラブ監督 城戸 友行

昨年、久々に男子チームが銅メダルを獲得した若葉カップ以来、小平ジュニアが再び優勝を勝ち取るためには、ただ「悔しさ」をエネルギーにするだけでは足りない…そう考えていた私は、もう一度チームとして必要な要素を見直してみました。選手の頑張りを支える環境の三要素「もの」「はこ」「ひと」…用具やシャトル・練習するための体育館・選手を育成するスタッフ…保護者や多くのステークホルダーの協力抜きには考えられない環境整備でした。特に「ひと」の部分では米倉コーチを筆頭に、宮崎・佐藤両コーチのご尽力も仰ぎながら近藤トレーナーや江原管理栄養士にも手を尽くしていただきました。他に正式のスタッフ以外にも、コーチやトレーナーに勝るとも劣らない役割を多くの保護者に担っていただきました。

一方、監督としては、選手に常に「考える」ことを要求してきたつもりです。ゲーム練習後のアドバイスもまずは選手自身の「振り返り」から話させるようにしました。自分達の「強み」も「弱み」も自ら認識する必要があると思ったからです。一朝一夕にはいきませんでした。コート内で半べそをかくような姿は次第に影を潜めるようになってきました。

しかし、女子チームは、またしても都予選決勝で姿を消してしまいました。それに対して男子は素晴らしい形での予選突破、そこから、昨年度よりメダルの色を良くしたいと願い、女子の分までと意思を込め、何としても優勝カップを持ち帰りたい…。男子メンバー皆がそんな思いで臨んだ大会でした。

それでも絶対的なエースやU13の選手がいるわけではなく、本大会を迎えてなお私は自信满满だったわけではありません。ただ、「兎も角もやるべき準備はしてきた」という不思議に落ち着いた気持ちがあったのも確かです。選手達の目には決意も感じられました。キャプテンを中心に丸となったチームは、会場に足を運んでくださった増田先生、藤田先生、ベンチで共に闘った青木コーチにも助けられながら、ベスト8まで駒を進めたのです。最終日初戦、準々決勝の相手は名門・香川スクールでした。強豪相手に総力戦の結果、正に「薄氷を踏む思い」での辛勝でした。その後、準決勝の広島安佐ジュニア戦まで勝利を重ね、昨年度の戦績を越え決勝進出、決勝の相手は地元の声援を受ける長岡京

市スポーツ少年団でした。オーダーを出す僅かな時間に考えに考え抜いて、初めてエースをダブルスに回したのです。まるでアウェーのような状況の中、応援のメンバーも含め、子ども達はその賭けに見事に応えてくれました。今それを振り返ると、選手もスタッフも、正に『総合力』での勝利だったのだと思います。

10名のメンバーのひとりが欠けたとしても今回の優勝はありませんでした。

今までの先輩達ひとりひとりの作った伝統がなければ今回の優勝はありませんでした。

小平ジュニアの日本一のサポートスタッフがいなければ今回の優勝はありませんでした。

そして、女子や東京で応援してくれる仲間がいなければ今回の優勝はありませんでした。

大会中に女子から送られてきた素敵な応援メッセージは、今も脳裏に焼き付いています。

個人個人が己に勝つこと…「克己」の重要な個人スポーツの世界だからこそ忘れてはならないものがあると思います。それは、実は「ひとりでは聞えない」ということです。

「仲間」にも「スタッフ」にも「保護者の方々」にも、そして多くの人々に整えていただいた「環境」にも感謝の気持ちを忘れず、『総合力』の導いた『栄冠』であることを心に刻んで欲しいと思います。

選手達はこの感激を忘れず、そして全ての方々への『感謝』を胸に、今後の大会に向けて、更に挑戦し続けていきましょう。『矜持』を持って新たな小平の『伝統』を育むために…。





# 平成28年度の大会記録



## 第32回若葉カップ全国小学生バドミントン大会

(主催：日本協会・日本小学生連盟・長岡京市)

平成28年7月29日～8月1日／京都府長岡京市・西山公園体育館

### 【男子の部】

- 優勝 小平ジュニア (東京都)・・・4回目
- 2位 長岡京市スポ少 (京都府)
- 3位 安佐ジュニア (広島県)
- 岡垣ジュニア (福岡県)

### 【女子の部】

- 優勝 ミッキーズ (岡山県)・・・初優勝
- 2位 たなしMAX (東京都)
- 3位 T-Jump (愛知県)
- 大垣北BSS (岐阜県)

## 初出場から11年目！ 初めて手にした優勝カップ

ミッキーズ監督 亀川 章 文

ミッキーズでの若葉カップは、2005年に初出場から11年目、今回で10回目の出場となります。若葉カップと言えば小学生バドミントン大会でもクラブ対抗戦であり、ジュニアクラブの指導者としては、いつかは優勝したいと思う大会です。その若葉カップに10回出場し、入賞も何回かしましたが、勝った喜びより負けた時の悔しさは何年たっても忘れる事は出来ません。今年は絶対に勝てると思って参加し、予選リーグで敗退した事もあります。後から思えば、監督としてこれでよかったのか、オーダーもこれで良かったのか、子供を怒ってしまった事など、毎回、参加した後で反省を繰り返してきました。

日々、子供達には、クラブ方針として『はい・すみません・おかげさま・私がします・ありがとう』の五つの心を大事にしようとして指導してきました。

今年のメンバーは、シングルで戦えるトップ選手はいませんが、参加者10名全員が平均したレベルであり、昨年、準決勝で勝てなかった悔しさを味わっているメンバーが大半です。勝てなかったのは自分が負けたからと6年・5年生は一年間悔しさを忘れず練習を行ってきました。そして私も、今年の大きな目標として『子供達と一緒に若葉カップ優勝』をかかげ頑張ってきました。その子供達の努力と協力してくれた先輩や保護者へのありがとうの思いが今回の結果につながったと感じています。

今回の大会を振り返ってみると、予選リーグに強豪の「岡垣ジュニア」、今年も予選で負けてしまうかなと思いました。どうすれば子供達が緊張せず戦えるか、コーチと相談し、

予選の前日には水族館で楽しもうと夜のイルカショーを観覧し、明日の対戦のオーダーと「楽しく戦えば必ず勝てる」と伝えました。子供達もリラックスして試合当日を迎えることが出来たのではないのでしょうか。当日は、1試合ごとハイタッチでテンションを上げ、緊張する事なくゲームが出来、その結果3-2で見事勝利することが出来ました。

決勝トーナメントに入り1回戦は、初めて若葉に出場した時に負けた「東光小少年団」、2回戦では2回目に出場し予選で負けた「小俣スポーツ少年団」と過去に先輩が対戦して負けたチームであり、私にとって絶対に勝ちたいチームでした。その思いが伝わったか、子供達の頑張りにより見事に勝利することができました。準決勝では「T-Jump」、決勝では「たなしMAX」とシングル選手が主力のチーム。決勝の「たなしMAX」戦では6年か5年のシングルでどちらかが勝たないと厳しいと思っていましたが、第1試合の6年シングル、そして5年ダブルスが勝利するとその流れで6年ダブルスも勝利することが出来、優勝となりました。

今回の大会では、楽しく決勝まで勝ち進む事ができ、優勝カップを手にした感激は参加した全員忘れることはないと思います。又、若葉カップで優勝した名誉は、クラブにとっても大きな財産となったと思います。





# 第17回全国小学生ABCバドミントン大会

(主催：日本協会・日本小学生連盟)

平成28年8月15日～17日/埼玉県幸手市・久喜市 アスカル幸手ほか

## 【男子Aクラス(5・6年生)】

- 優勝 池田真那斗(香川県)
- 2位 平田 璃月(岡山県)
- 3位 櫻井 煌介(栃木県)  
岩野 滉也(愛知県)

## 【女子Aクラス(5・6年生)】

- 優勝 明地 陽菜(大阪府)
- 2位 遠藤 心夏(山形県)
- 3位 志知夕里菜(岐阜県)  
吉川 天乃(岡山県)

## 【男子Bクラス(3・4年生)】

- 優勝 松川 健大(神奈川県)
- 2位 斉藤 礼(福岡県)
- 3位 野村 歩夢(東京都)  
中静 悠斗(栃木県)

## 【女子Bクラス(3・4年生)】

- 優勝 横内 美音(山梨県)
- 2位 砂川 温香(千葉県)
- 3位 樋口 吹羽(徳島県)  
玉木 亜弥(東京都)

## 【男子Cクラス(1・2年生)】

- 優勝 山脇 弘奨(愛知県)
- 2位 勝又 悠翔(静岡県)
- 3位 田上 幹太(熊本県)  
野口 馳矢(東京都)

## 【女子Cクラス(1・2年生)】

- 優勝 永瀨友梨華(佐賀県)
- 2位 沼田 唯李(埼玉県)
- 3位 河村 美里(埼玉県)  
山辺彩由里(千葉県)



# 第25回全国小学生バドミントン選手権大会

(主催：日本協会・日本小学生連盟)

平成28年12月23日～27日/滋賀県大津市 滋賀県立体育館

## 【都道府県対抗団体戦：男子の部】

- 優勝 愛知県 岩野 滉也・富田万南斗・縣 涼介  
(初優勝) 近藤 海裕・片山 温斗
- 2位 京都府
- 3位 新潟県・広島県
- 5位 埼玉県・福井県・大阪府・香川県

## 【都道府県対抗団体戦：女子の部】

- 優勝 北海道 伊藤 歩・宮平 聖菜・石岡 空来  
(初優勝) 竹内 紅葉・山家くるみ
- 2位 茨城県
- 3位 福岡県・東京都
- 5位 栃木県・神奈川県・山口県・北海道



## 【6年生男子シングルス】

- 優勝 池田真那斗(香川県・香川スクール)
- 2位 斉藤 駿(新潟県・五泉バンビーノ)
- 3位 富田万南斗(愛知県・師勝ジュニア)  
岩野 滉也(愛知県・西尾ジュニア)

## 【5年生男子ダブルス】

- 優勝 野口駿平・柳川瑠生(東京都・たなしMAX Jr)
- 2位 上畑 蓮・林田真龍(福岡県・秋月フォックス)
- 3位 矢部優空・小宮大空(東京都・国分寺ジュニア)  
青木洗明・篠原仙一(東京都・小平ジュニア)

## 【4年生以下女子シングルス】

- 優勝 樋口 吹羽(徳島県・藍住エンジェル)
- 2位 横内 美音(山梨県・甲府ジュニア)
- 3位 平本梨々菜(岐阜県・池田町少年団)  
秋田 まな(岡山県・永井クラブ)

## 【5年生男子シングルス】

- 優勝 沖本 優大(広島県・原ジュニア)
- 2位 中山 颯太(三重県・小俣スポ少)
- 3位 寺内 遥大(栃木県・小山JBC)  
阿部 学斗(北海道・釧路ジュニア)

## 【4年生以下男子ダブルス】

- 優勝 勝又翔哉・勝又悠翔(静岡県・富士山クラブ)
- 2位 坂本安樹・櫻井慎大(栃木県・宇都宮ダッシング)
- 3位 鈴木泰芽・福島幸輝(東京都・たなしMAX Jr)  
猪俣佑仁・高坂悠陽(青森県・浪岡ジュニア)

## 【6年生女子ダブルス】

- 優勝 岩西真那・藤田美咲(東京都・Teamclover)
- 2位 千北梨花子・今村 涼(福岡県・荘島クラブ)
- 3位 吉川羽音・吉田陽萌(石川県・美川ジュニア)  
新見桃芭・及川 歩(山口県・花岡ジュニア)

## 【4年生以下男子シングルス】

- 優勝 松川 健大(神奈川県・青葉ジュニア)
- 2位 斉藤 礼(福岡県・岡垣ジュニア)
- 3位 澤田 修志(北海道・帯広ジュニア)  
津川 祐太(北海道・札幌BEANS)

## 【6年生女子シングルス】

- 優勝 吉川 天乃(岡山県・Nラインクラブ)
- 2位 明地 陽菜(大阪府・瓜破西SSC)
- 3位 室屋 奏乃(福岡県・スマイルジュニア)  
志知夕里菜(岐阜県・大垣北少年団)

## 【5年生女子ダブルス】

- 優勝 竹本千穂・堀 小雪(岡山県・ミッキーズ)
- 2位 藤井史穂・吉岡葉菜(大阪府・D☆ARMY)
- 3位 斉藤舞音・笹川 凜(新潟県・白根エンゼルス)  
村本果奈・松山陽香(長崎県・ひなときクラブ)

## 【6年生男子ダブルス】

- 優勝 相澤大智・矢田楓雅(新潟県・プログレス)
- 2位 藤谷泰雅・西村勇次郎(石川県・野々市ジュニア)
- 3位 小沼孝次・関根翔太(東京都・青梅ジュニア)  
山腰悠太・石崎太一(福岡県・海老津ジュニア)

## 【5年生女子シングルス】

- 優勝 岩戸 和音(北海道・愛宕東少年団)
- 2位 山北 奈緒(埼玉県・鶴ヶ島Angels)
- 3位 遠藤 美羽(栃木県・足利ラフダイヤモンド)  
秋保 奈々(鹿児島県・霧島ジュニア)

## 【4年生以下女子ダブルス】

- 優勝 中野真里・鈴木あいら(千葉県・鎌ヶ谷ジュニア)
- 2位 山北真緒・伊藤康乃(埼玉県・鶴ヶ島Angels)
- 3位 青木優羽・平田 涼(茨城県・桜川ジュニア)  
武下亜美・及川沙来杏(北海道・帯広ジュニア)



# 全国小学生バドミントン選手権

6年男子シングルス優勝

香川県 香川スクール 池田 真那斗

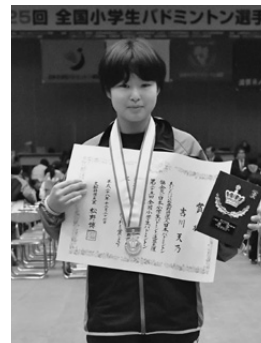


僕は小学生最終学年の六年生でABC、全小と二冠することができ、とても嬉しかったです。僕がバドミントンを始めたきっかけは、父や兄がバドミントンをやっているのを見て素直にかっこいい、面白そうだと思っバドミントンを始めました。初めての全国大会は、忘れもしない

二年生のABC大会でした。地元、香川県では負けた事が無く、ベスト8くらいは行けるだろうと思っていましたが、予選は二位、本選には行けましたが一回戦負け、しかも大差をつけられての敗退。同学年では初めての負けにとっても悔しく大泣きをしました。極度の緊張とミスが多く基本的なことが何一つできていなかった事が敗因だったと思います。ABC大会以降、僕はバドミントンに対する意識を真剣に考えるようになりました。「もう負けたくない。全国で勝ちたい。」これを目標とし、必死になって練習しました。その成果を出す機会が一年後の全小でした。三年生でしたが四年生の先輩とダブルスで三位入賞でき銅メダルを手にしたましたが、やはり金メダルが輝いて見えました。また悔しくて大泣きしました。次の目標は「全国大会で優勝。金メダルが欲しい。」と。四年生になり、若葉カップで優勝でき、初の金メダルを手に入れたときは本当に嬉しかったです。仲間と一緒に戦ってきた金メダルはとても重かったです。次は「個人戦で全国優勝」と目標を変えました。しかし、その年のABCは五位、全小はまた先輩と背水の陣で挑みましたが準優勝でした。その時の六年生優勝者、奈良岡選手の文部科学大臣賞杯をみて「あれを三年後必ず手に入れてやる。」と心に誓いました。そこからシングルスを徹底的に練習しましたが、五年生での全小でまた五位。そこで吉川現監督に泣きながら「僕を全国チャンピオンにしてください。」と頼みました。吉川監督も快く引き受けてくれ高校生や中学生に混じって指導してくれました。そのおかげでU13にも入ることができ、六年生の最後、ABCや全小で優勝できました。念願の金メダルと文部科学大臣杯はととてもとても重かったです。これも父や兄、吉川代表、監督をはじめコーチの方々のサポートのおかげだと思います。これからも全中やインターハイも優勝し、ナショナルA代表に入りオリンピックで金メダルを取るのが僕の最大の夢です。これからもみなさん応援お願いします。

6年女子シングルス優勝

岡山県 Nラインクラブ 吉川 天乃



「3連覇」のかかった6年生最後の「全国小学生バドミントン選手権大会」で優勝し、4年生の頃から念願だった「文部科学大臣杯」を手にすることができて、とても嬉しいです。

幼稚園の年長の時に、母がNラインクラブのコーチとして体育館に練習に行くのについて行き、空いた時間に母やコーチとシャトルを打つことが楽しくて、気がつけばバドミントンを始めていました。

私にとって初めての全国大会は2年生の時の「全国ABC大会」でした。初めての大きな舞台に緊張しました。結果は上位トーナメントで負けて、悔しくて、悔しくて大泣きをしてしまいました。

その日から、「次は勝ってやる。」と思いながら、より真剣にバドミントンの練習をするようになりました。

「次の全国大会で3位までに入る。」と目標を立てました。

4年生の「全国小学生バドミントン選手権大会」当日、「最後まであきらめずに笑顔でプレーする。」と自分に言い聞かせながら試合をしました。決勝戦ではファイナルゲームにもつれる大接戦になり、相手にリードされたままコートチェンジしました。でも「あきらめない。落ち着いて。」と言い聞かせながら試合をした結果、逆転し念願の初優勝を手に入れました。

歴代チャンピオンの名前が書かれたトロフィーをもらい、「自分の名前もここに残るんだ。」と思うと、とても嬉しかったです。

その後、「もっともっと強くなりたい。」と思いながら日々の練習に励みました。

しかし、5年生の時のABC大会では6年生相手に落ち着いてプレーすることができず、ベスト16で負けてしまいました。「冬の全国大会では優勝する。」と誓って岡山に帰って練習をしました。そして、全国大会の結果は優勝。とても嬉しかったけど、周囲からの「おめでとう。」と一緒に「次は3連覇だね。」の声に大きなプレッシャーも感じました。でも、「練習しかない。」と思い、あまり3連覇のことは考えず練習をしてきました。

今回の全国大会は初戦からファイナルゲームの試合が続きました。打っても打ってもとられてしまい、焦ってしまうときもありました。しかし、会場を見わたすいろいろな方が応援してくれており、「絶対負けない。落ち着いて。」とすることができました。決勝戦もファイナル。大きく深呼吸をし、舞台の上にある大きなトロフィーを見て、「あれを絶対岡山に持って帰ってやる。」と思い、プレーをしました。結果は優勝、そして3連覇。試合に勝って初めて涙がでました。

5・6年生でU13のナショナルメンバーに選ばれ、2年間強化合宿や海外遠征に参加させていただき、技術、体力、そしてスポーツ選手としてのマナー、日本の代表としての自覚、礼儀を学ぶことができました。

幼稚園でバドミントンを始めた時から今まで、いろいろな方々に応援してもらい、そして指導をしてくださった監督・コーチをはじめたくさんの方々のおかげがあり、今の自分がいると感謝しています。

「これからも、もっともっと強くなりたい。」その気持ちを大切にしながら練習を続けていきます。

ありがとうございました。





# 2016年日本小学生バドミントン連盟 強化部の事業報告

## 平成28年度「タイバドミントンキャンプ」

コーチ 大橋 奈麻輝

期 日	平成29年3月25日(土)～30日(木)
場 所	タイ・バンコク
監 督	中口 直人(愛知県・日本小学生バドミントン連盟強化部長)
コ ー チ	大橋 奈麻輝(岐阜県・東海ブロック強化部長)
選 手	沖本優大(広島県)・中山颯太(三重県)・寺内通大(栃木県)・阿部学斗(北海道)・岩戸和音(北海道) 山北奈緒(埼玉県)・遠藤美羽(栃木県)・秋保奈々(鹿児島県)

### 1. 遠征先環境

バンコクは、晴天が多く、体育館内では平均30℃で最高気温は35.5℃になることもありました。

バントンヨバドミントンスクールには、9面の体育館が2か所隣接し、体育館の間には、食堂、ショップ、今回宿泊した宿舎(3階建て)があるなど終日、長期的な遠征には適した環境でありました。

コートは、バドミントン専用のグリーンマットで滑らない状態で、6歳からユース、初心者からオリンピック選手に至る様々プレイヤー、約500名が登録し、コートごとに経験のあるコーチが配置されており、計画的な運営がされていました。

### 2. 練習内容

今回の練習時間は、7時00分～9時00分、12時00分～15時00分(13時00分～16時00分)の2回でしたが、夜間18時00分～21時00分も可能でありました。

7時からの練習はフィジカルトレーニングが中心で、ウェイトトレーニングも体験しました。

また、ノックやパターン練習は日本で実施されている内容と同じ内容でありましたが、一つのメニューに費やす時間が長く、正確性やシャトルを取る意識の高揚について日本とは多少異なっていると感じました。

### 3. 総括

日本小学生バドミントン連盟として、タイ・バンコクは初めての遠征先であり、暑さの環境もあり不安もありました

が、選手の体調や食事面でも特に問題はなく過ごすことができ、予想以上にバドミントン環境はよく、外に出ることもなく治安面でも管理しやすい環境であった。また、バドミントン練習環境も充実していました。

スクールには、日本人留学生の山本さん、コーディネイトして頂いた現地在住の田中氏の存在は、滞在に安心感を与えるものでありました。

さらに、タイ側のコーチ陣もフレンドリーで選手に対してもわかりやすい指導の説明もあり、選手も練習内容を理解して、練習に取り組むことができました。

ジュニアレベルも日本と近く、ジュニア強化に対する考え方も近いものがあり、環境も踏まえ継続した遠征先として適していると感じました。

ただ、選手の経験にはなるものの、移動時間が乗り換えを含め12時間かかり、少し検討の余地があります。貴重な経験を選手とともに味わえる機会を与えて頂き感謝します。





## 平成28年度の専門部事業

### 選手強化部

#### 1) 平成28年度日本小学生バドミントン連盟 強化合宿・海外遠征

- ① 平成28年度第4回U-13選抜強化合宿  
…………… 8月1日～4日／京都府長岡京市 西山公園体育館
- ② 第15回日小連強化合宿…………… 8月17日～19日／東京都北区 味の素ナショナルトレーニングセンター

#### 2) 平成28年度日本小学生バドミントン連盟ブロック普及事業(補助金交付)

#### 3) 平成28年度日本協会 選手強化本部事業

- ① 2016年ジュニアナショナルU-13強化指定選手 強化合宿 …………… 4月24日～29日／NTC
- ② 2016年ジュニアナショナルU-13強化指定選手 強化合宿 …………… 9月21日～25日／NTC
- ③ シンガポールユースインターナショナル2016直前強化合宿 ……………11月23日～26日／NTC
- ④ シンガポールユースインターナショナル2016 ……………11月26日～12月5日／シンガポール・シンガポール市
- ⑤ 2017年ジュニアナショナルU-13強化指定選手 選考合宿 …………… 2月1日～4日／NTC
- ⑥ 平成28年度タイバドミントンキャンプ …………… 3月25日～30日／タイ・バンコク市

### 指導育成部

#### 1) 指導者講習会《巡回指導》の開催(ヨネックス協賛事業)

- ① 5月15日 千葉県小学生バドミントン連盟(千葉市花島公園体育館)
- ② 6月11日 石川県少年バドミントン連盟(かほく市河北台県民体育館)
- ③ 9月10日 静岡県小学生バドミントン連盟(富士宮市富士フィルム育館)
- ④ 9月17日 愛知県小学生バドミントン連盟(愛知県美浜少年自然の家)
- ⑤ 11月5日 長野県小学生バドミントン連盟(松本市波田体育館)
- ⑥ 11月5日 高知県小学生バドミントン連盟(高知市東部体育センター)
- ⑦ 11月12・13日 北海道小学生バドミントン連盟(深川市総合体育館)
- ⑧ 11月23日 富山県小学生バドミントン連盟(高岡市民体育館)
- ⑨ 1月8日 岐阜県小学生バドミントン連盟(笠松町総合体育館)
- ⑩ 1月19日 山梨県小学生バドミントン連盟(甲府市立甲府商業高校体育館)
- ⑪ 2月12日 新潟県小学生バドミントン連盟(柏崎市総合体育館)
- ⑫ 2月25日 広島県小学生バドミントン連盟(福山市立久松台小学校体育館)
- ⑬ 3月5日 茨城県小学生バドミントン連盟(石岡市総合体育館)

### 医科学研究部

#### 1) スポーツ医科学講義の実施

指導育成部の実施する指導者講習会(巡回指導)とタイアップした形で平成28年度は4回の講義を実施した。

- ① 6月12日 島根県バドミントンジュニア連盟講習会 担当 北山吉明(医師)
- ② 9月18日 愛知県小学生バドミントン連盟講習会 担当 北山吉明(医師)
- ③ 11月13日 北海道小学生バドミントン連盟講習会 担当 北山吉明(医師)
- ④ 3月5日 茨城県小学生バドミントン連盟講習会 担当 北山吉明(医師)

#### 2) スポーツ歯科研究

「小学生バドミントン選手の咬合機能とパフォーマンス」 担当：坂東陽月(歯科医)  
第25回全国小学生バドミントン選手権大会にて測定 平成28年12月23～27日 滋賀県草津市

#### 3) 小学生スポーツ障害110番

- ① プロテイン、セノビックなどサプリメントについての質問
- ② 腰部椎間板ヘルニアにかんする質問

上記の質問に関しメールを用いて回答した。

#### 4) バドミントン教本、ジュニア編(『財』日本バドミントン協会編)の改訂版出版

上記教本を改訂し平成28年12月の全国小学生バドミントン選手権大会の開催に合わせて出版した。



## 平成29年度の事業計画

6月3日、味の素ナショナルトレーニングセンターにおいて開催された定期総会において平成29年度の事業計画及び予算が承認されました。総会には会長をはじめとする理事・都道府県代議員あわせて41名が出席しました。

### ■ 主催大会の開催

- 1) 第33回若葉カップ全国小学生バドミントン大会(京都府長岡京市) …… 7月28日～31日
- 2) 第18回全国小学生ABCバドミントン大会(北海道札幌市) …… 8月14日～16日
- 3) 第26回全国小学生バドミントン選手権大会(広島県広島市) …… 12月22日～26日

【30年度大会開催予定】 「第34回若葉カップ」 京都府長岡京市 「第19回ABC大会」 熊本県八代市  
「第27回全小大会」 東京都八王子市

### ■ 選手強化部

#### 1) 平成29年度日本小学生バドミントン連盟強化合宿

- ① 第5回U-13選抜強化合宿(日バと共催) …… 7月31日～8月3日/西山公園体育館(京都府長岡京市)
- ② 第16回選抜強化合宿 …… 8月16日～19日/北海道立総合体育センター(北海道札幌市)
- ③ 海外遠征 …… 未定
- ④ ブロック普及事業(強化合宿等)への補助金交付 …… 普及事業は各ブロックで計画・実施  
各ブロック連盟が実施する合宿などの普及・強化事業に対して日本小学生バドミントン連盟が補助金を交付するもので、平成19年度から始まった事業です。補助金は選手個人登録者数に応じて決定しています。平成20年度から賛助金の50%を上乗せし、基準単価は平成26年度に改定しています。

#### 2) 平成29年度日本協会 選手強化本部ジュニア強化部事業(予定)

- ① ジュニアナショナルチーム(U-13)強化合宿 4月25日～28日 NTC  
(U-13)強化合宿 6月12日～18日 NTC  
(U-13)選考合宿 11月12日～18日 NTC
- ② 海外遠征 未定

### ■ 指導育成部

- 1) 指導者講習会《巡回指導》の開催(ヨネックス協賛事業)  
平成29年度の開催は15～20カ所を予定

### ■ 医科学研究部

#### 1) スポーツ医科学普及指導活動

- ① 指導普及部と協力して、全国都道府県の指導者および保護者に対して巡回指導(実技及び講義)を実施する。
- ② 本年度実施回数は6回を予定している。
- ③ 講義内容は医科学全般を対象とするが、希望のあった項目を優先する。内容としてはスポーツ医学、スポーツ障害学、栄養学、バイオメカニクス、トレーニング理論と実際、スポーツ歯科、スポーツと脳、メンタルトレーニング、トレーナーによるコンディショニング、などである。
- ④ 依頼を頂いた都道府県に出向し、指導する。

#### 2) 医科学研究活動

スポーツ歯科研究を今年度も継続して実施する。

発育期にあるジュニアバドミントン選手の口腔内調査を通して、スポーツ活動に必要な歯科的問題を掘り起こし、より高いパフォーマンスにつながる、歯のメンテナンスなどについて研究する。咬合力とスポーツ能力の関連についてさらに研究を進める。

#### 3) 小学生のスポーツ障害110番の開設

日本小学生バドミントン連盟に所属する小学生の指導者で、対処に困っているスポーツ障害やその他、発育や食事等の医科学的疑問について、下記のメールアドレスに質問をいただければ、医科学研究部員が回答を返信します。

メールアドレス: sp7e26q9@rice.ocn.ne.jp 医科学研究部 北山 吉明

### ■ その他

#### 1) 広報活動

- ① 賛助会会報『小学生バドミントン通信 第17号』の発行
- ② インターネット 公式サイト管理運営



## 平成28年度の賛助会員としてご協力をいただいた皆さんです。

皆さんからいただいた賛助金は、日本小学生連盟の運営や各ブロックで実施する普及・強化事業への補助などに使わせていただきます。

(敬称略)

【北海道】旭川東光小少年団/清水新得ジュニア/帯広豊成JBC/帯広栄少年団/帯広ジュニア/北栄JBC/札幌大同Jr/北見市少年団/豊住少年団/小場範夫/日比野正人/熊谷敏夫/松原卓也/SA・東羽倶楽部/登別スポ少/志文JBC/小樽SAWAジュニア/高台少年団/嵐山少年団/斜里ジュニア 【青森県】青森県小学生連盟(3口) 【岩手県】村上信夫/ライスヒルズジュニア 【秋田県】秋田県小学生連盟(5口) 【山形県】山形県小学生連盟(10口) 【茨城県】茨城県小学生連盟/明野ちびバド 【埼玉県】シャトラーズスポ少/埼玉県小学生連盟(1万円) 【イーストフレンドスポ少/出羽ジュニア/上尾ジュニア/蓮田サウスシャトラーズ/志木ジュニア/磯井貞夫/春日部白翔/川口朝日(2口) 【ラケットハウスグリップ 【千葉県】小山義男(1万円) 【東京都】上田敏之/増田英男(3口) 【たなしMAXJr 【神奈川県】大清水スポ少/神奈川県小学生連盟(5口) 【浅見勇(1万円) 【長野県】倉科儀男/有賀隆明/桑原俊孝/辰野誠一/松澤利美 【富山県】高岡ジュニア/堀川南ジュニア 【石川県】中央ジュニア/北山吉明(1万円) 【美川漆ジュニア(2口) 【静岡県】御殿場ジュニア/どんぐりジュニア/伊東ワールト(3口) 【広幡バドキッズ/藤枝Jr/SBCスクール(5千円) 【荒井威雄(3口) 【愛知県】はりーあつぷジュニア(7口) 【中口直人(5口) 【石ヶ瀬スポ少/北山東山ファミリー(2口) 【ウイスタリアジュニア(2口) 【師勝ジュニア/愛知県小学生連盟(2口) 【永井与志夫(1万円) 【アドバンスジュニア/日進ジュニア/TOYOKAWA Jr/岡崎ジュニア/くすの木少年団/大野スポ少/田安武男/名古屋スポ少/S.G.Uジュニア/長久手ジュニア/羽っ子CLUB/T-Jump Jr/盛田幸子/たんぼぼ 【三重県】高橋克彦/有緝スポ少/登俊生/森下さと子/松岡睦/誠之スポ少/三重県小学生連盟/下倉輝夫/濱口昌大/田中良弘/佐波充友/高茶屋スポ少/梅本洋平/小俣町スポ少/南が丘スポ少/磯部スポ少/北村元/明倫スポ少/川越町スポ少/明生Jr/厚生クラブ/溝井博司/南島スポ少/濱地賢/青木菜由/玉木郁子/ときわジュニア 【岐阜県】尾藤宏治(5口) 【大垣静里少年団/尾藤英邦(3口) 【三浦公雄(3口) 【尾藤伸治(3口) 【大野ジュニアスポ少/リバークラブ/多治見ジュニア/岐南クラブ/大垣北BSS(3口) 【池田町少年団/神戸町少年団/高山ジュニア/大垣安井BBS/垂井JSC/Kojima BC(5口) 【びとう会/福永正弘(3口) 【高井政己/川島ジュニア 【京都府】坪内正一(2口) 【小泉和子/小國俊之(5口) 【大前茂(2口) 【立野誠次/石井保祐/ウイニングショット/田中田鶴子 【大阪府】大阪府小学生連盟(2口) 【兵庫県】兵庫県小学生連盟(2口) 【能勢武俊(2口) 【奈良県】奈良県小学生連盟 【島根県】島根県ジュニア連盟 【岡山県】岡山県小学生連盟(3口) 【広島県】広島県小学生連盟(2口) 【山崎雅典 【山口県】チョウフJBC 【香川県】香川スクール/中央スポ少/白浜義次/三豊ジュニア少年団/飯野スポ少/中部ジュニアスポ少/木太南スポ少/古高松スクール/花園ジュニア/志度ジュニア/国分寺スポ少/丸亀南ジュニアスポ少/弦打スポ少/モアクラブ/モアスポーツ四国/モアスポーツ西日本販売/榎OKUDA GROUP/加藤建義 【徳島県】藍住エンジェルスポ少/内町ジュニア/助任ジュニア/小松島ジュニア/林崎ジュニア/北島Bambi/福島ラビット/相生B.C/加茂名ジュニア/八万ジュニアスクール/上坂Jr/穴喰ジュニア 【大分県】大分県小学生連盟(3口) 【宮崎県】宮崎県小学生連盟/宮崎県小学生連盟理事一同 【沖縄県】キタムラジュニア/恩納シャトル/西原シャトル/ごさまるスマッシュ/彩橋シャトル/泡瀬ジュニア/宮里クラブ/北美ストリーム/銘苺ゆいクラブ/宜野湾ジュニア/南風原クラブ/豊見城シャトル/久高ジュニア/那覇ジュニア/石川スマッシュ/親慶原シャトルキッズ/SATOクラブJr/越来ドリームズ/美東フレンズ/糸満ジュニア/喜瀬武原クラブ (合計203件:321口)

※平成29年度も引き続き「賛助会員(1口3,000円)」を募集しています。賛助会の申込み及び会費の振込みは下記へお願いします。

【新規の場合「申込書」送付先】 〒503-0982 岐阜県大垣市久徳町339 福永正弘 宛

【会費の振込先】 継続・新規とも下記の口座へお願いします。

郵便振替口座 「00870-3-88151 日本小学生バドミントン連盟」

- \* 通信欄にクラブ名・代表者名あるいは個人氏名をご記入ください。
- \* 赤色の振込用紙にご記入の上、できるだけ郵便局の振込機械をご利用ください。

### 日本小学生バドミントン連盟 平成29年度役員 (平成29年6月3日現在)

名誉会長：靱井勝人

会長：黒川 茂

副会長：北山吉明 尾藤宏治

理事長：能登則男

副理事長：小國俊之 吉川和孝 中口直人 白浜義次

常任理事：上田敏之 下野和義

佐倉和明(関東) 山下新一(中国)

理事

熊谷敏夫(北海道) 遠藤宏一(東北)

伊藤 薫(北信越) 永井与志夫(東海)

松村宏則(近畿) 藤本 伸(四国)

吉浦健二郎(九州) 三古 剛(若葉)

福永正弘(会計)



### 日本小学生バドミントン連盟 事務局

〒068-0025 北海道岩見沢市5条西13丁目20番地 下野和義 気付

TEL: 0126-25-0089 FAX: 0126-25-4710

http://www.syoubad.jp E-mail: shimono@syoubad.jp